

Financial Section



ここが
ポイント!

現金及び預金 ▶ 808億円となり、前期末(平成17年3月末)から215億円増加しました。

たな卸資産 ▶ 1,494億円となり、フォトイメージング製品を中心に前期末比280億円減少しました。

有形固定資産 ▶ 2,161億円となり、固定資産の減損会計の適用などにより前期末比64億円減少しました。

支払手形及び買掛金 ▶ 1,179億円となり、フォトイメージング事業の生産縮小等により前期末比201億円減少しました。

有利子負債 ▶ 引き続き削減の結果、前期末比からさらに97億円減り、2,365億円となりました。

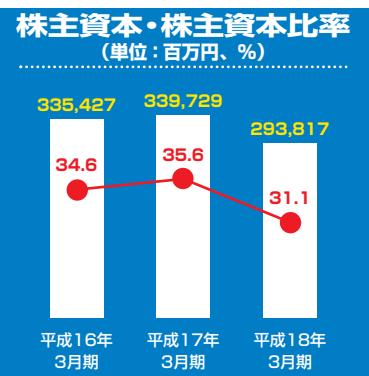
その他負債 ▶ 2,929億円となり、フォトイメージング事業の事業終了の決定に伴う事業撤退損失引当金の計上などにより、前期末比632億円増加しました。

株主資本 ▶ 543億円の当期純損失の計上などにより、前期末比459億円減少の2,938億円となり、株主資本比率は31.1%となりました。

連結貸借対照表（要約）

(単位:百万円、未満切捨)

	当期 平成18年3月31日	前期 平成17年3月31日
現金及び預金	80,878	59,330
受取手形及び売掛金	246,264	243,098
たな卸資産	149,428	177,505
その他の資産	63,579	62,794
流動資産合計	540,152	542,728
有形固定資産	216,127	222,617
無形固定資産	103,483	109,625
投資その他の資産	84,291	80,570
固定資産合計	403,902	412,813
資産合計	944,054	955,542
支払手形及び買掛金	117,974	138,074
有利子負債	236,561	246,346
その他の負債	292,947	229,671
負債合計	647,483	614,092
少数株主持分	2,753	1,720
資本合計	293,817	339,729
負債・少数株主持分及び資本合計	944,054	955,542



連結損益計算書(要約)

	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売 上 高	1,068,390	1,067,447
売 上 原 価	575,163	597,800
売 上 総 利 益	493,227	469,647
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	409,811	402,069
営 業 利 益	83,415	67,577
営 業 外 収 益	14,879	8,971
営 業 外 費 用	21,457	22,931
経 常 利 益	76,838	53,617
特 別 利 益	3,353	3,177
特 別 損 失	116,126	21,364
税金等調整前当期純利益(△損失)	△35,934	35,430
法 人 税 等	17,533	27,352
少 数 株 主 利 益	837	553
当 期 純 利 益 (△ 損 失)	△54,305	7,524



フォトイメージング事業の売上減少を他事業が補い、全体としては前年並みとなりました。

売上総利益率は、前年の44%から46%へと2ポイント上昇しました。

過去最高額を達成しました。

フォトイメージング事業の終了決定に伴う損失や、同事業にかかる固定資産の減損損失など966億円、特別転進支援制度の実施に伴う特別退職加算金64億円などが含まれています。



税金等調整前当期純損失が359億円となったものの、フォトイメージング事業の事業終了決定に伴う事業撤退損失をはじめとして減価償却費・減損損失などの非資金項目が大きく影響し、営業活動によるキャッシュ・フローは789億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	前期 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	78,924	55,680
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,146	△49,343
I+II フリー・キャッシュ・フロー	35,778	6,336
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,850	△31,614
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,463	642
V 現金及び現金同等物の増減額	21,391	△24,635
VI 現金及び現金同等物の期首残高	59,485	83,704
VII 新規連結等による現金及び現金同等物の増加額	1	416
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	80,878	59,485

新製品のための金型投資に加え、情報機器事業とオプト事業の生産増強のための設備投資などを行った結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△431億円となりました。

社債の償還を中心に有利子負債のさらなる削減を行い、財務活動によるキャッシュ・フローは△168億円となりました。

単体貸借対照表（要約）

(単位:百万円、未満切捨)

資産の部

	当期 平成18年3月31日
流動資産	136,391
現金及び預金	27,902
未収収益	1,448
短期貸付金	143,521
その他の貸倒引当金	24,741
△61,221	
固定資産	248,792
有形固定資産	73,095
建物及び構築物	40,561
土地	30,669
その他の無形固定資産	1,864
投資その他の資産	3,623
投資有価証券	172,073
子会社株式	26,478
その他の資産	125,132
資産の部合計	385,184

負債及び資本の部

	当期 平成18年3月31日
流動負債	101,402
短期借入金等	84,671
未払金及び未払費用	14,796
その他の固定負債	1,934
社債及び長期借入金	94,052
その他の負債	78,752
負債の部合計	195,454
資本金	37,519
資本剰余金	157,521
利益剰余金	△21,928
土地再評価差額金	7,896
株式等評価差額金	9,636
自己株式	△915
資本の部合計	189,729
負債及び資本の部合計	385,184

損失処理の理由および 利益処分の中長期的な方針

当期は、フォトイメージング事業の終了決定に伴い大きく損失を計上したことから、法定準備金等を取り崩して欠損墳補しました。なお、当期末の配当については、誠に遺憾ですが、当中間期に引き続き見送ることとさせていただきました。

株主の皆さまへの利益還元については、連結業績の進展状況と配当性向および将来の事業拡大のための内部留保の充実などを総合的に勘案しながら、安定的な配当をすることを中長期的な基本方針としています。

安定配当の観点からは1株につき年10円を目安におき、また、成長配当の観点からは連結業績ベースで15%以上の配当性向を1つの指標に定め、中期経営計画の実現によって今後成長が見込まれる情報機器事業およびオプト事業に注力することにより、グループ業績に連動したかたちで可能な限り配当の増額を志向し、株主の皆さまからのご支援に報いていく所存です。何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

単体損益計算書（要約）

(単位:百万円、未満切捨)

	当期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日
営業収益	55,854
営業費用	28,445
営業利益	27,409
業外損益	874
経常利益	28,283
特別損益	△67,300
税引前当期純損失	39,017
法人税等	△4,776
当期純損失	34,240
前期繰越利益	3,886
中間配当額	—
土地再評価差額金取崩額	666
当期未処理損失	29,688

損失処理

(単位:円)

(当期末処理損失の処理)

当期未処理損失	29,688,504,323
これを次のとおり処理いたします。	
その他資本剰余金から の振替額	19,634,482
利益準備金取崩額	7,760,091,947
資本準備金取崩額	21,908,777,894
次期繰越損失	0

(その他資本剰余金の処分)

その他資本剰余金	19,634,482
これを次のとおり処分いたします。	
当期未処理損失 への振替額	19,634,482
その他資本剰余金 次期繰越額	0